

令和7年7月16日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 鳥取市東町一丁目220

氏名 鳥取県
鳥取県営病院事業管理者 萬井 実（公印省略）
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第1項（第8条第4項、第9条第1項、第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	鳥取市東町一丁目220			
氏名（名称及び代表者の氏名）	鳥取県 鳥取県営病院事業管理者 萬井 実			
主たる業種	83 医療業			
該当する事業者要件	☒ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 ☐ 特定事業者以外の事業者			
計画期間	令和7年4月 ～ 令和10年3月			
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） (R6) 年度 (二酸化炭素換算)	目標年度（計画） (R9) 年度 (二酸化炭素換算)	増減率
	排出量（1）	10,892.5 t	10,794.5 t	△ 0.9 %
	目標設定の考え方	地球温暖化対策を推進する県の施設・事業者として、計画的・漸次的に一定量の排出量削減を目指す。		
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）
	医療施設	二酸化炭素換算延床面積	0.1 t-CO2/m2	0.1 t-CO2/m2
		二酸化炭素換算		△ 0.9 %
		二酸化炭素換算		%
		二酸化炭素換算		%
	原単位の目標設定の考え方	地球温暖化対策を推進する県の施設・事業者として、計画的・漸次的に一定量の排出量削減を目指す。		
寄与的取組	取組区分	目標年度（計画）		
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	(売電量) kWh	t	
		(熱供給量) GJ	t	
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	
	森林保全による二酸化炭素の吸収量を表すものの購入	-	t	
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	
	削減量等合計（2）		0.0 t	
差引排出量（1）－（2）		基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）
		10,892.5 t	10,794.5 t	△ 0.9 %
推進体制	エネルギー管理統括者（病院事業管理者）を責任者とし、エネルギー管理企画推進者及び各病棟のエネルギー管理員によりエネルギー使用量の把握・点検、省エネの対策等を実施する。			
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容	
	令和7年度～9年度	鳥取県立中央病院	外調機換気風量の最適化、冬季冷房運転箇所の削減	
	令和7年度～9年度	鳥取県立厚生病院	冷温水発生機の冷水温度最適化、省エネ照明器具の更新、ペダスト融雪装置運用見直し、高効率機器の導入	
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	特になし			
特記事項	特になし			

注1 該当する口には、レ印を記入してください。

注2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。

注3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。

注4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第63号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準業分類のうち中分類を記入してください。

注5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

7/16 (46)

